

| | |
|---------------------------------|---|
| 第 185 回 平成 30 年 10 月 19 日 | (退院支援) 「いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学-退院支援に活かす根拠-」 筑波大学国際発達学・エンパワメント科学研究室 教授 安梅 勲江 |
| 第 186 回 平成 30 年 11 月 6 日 | (保険診療) 全ての医療職種のための、保険制度・医療法の必須知識～医療機関勤務時に知っておくべき法律の重要項目解説～ 株式会社ニチイ学館医療関連事業本部 事業推進部経営支援課課長 国際医療福祉大学大学院非常勤講師 渋谷 英一 |
| 第 187 回 平成 30 年 11 月 21 日 | (防火・防災) ゲノム医療に向き合うケアとは？ ～ゲノム医療に関する学びの一步をすすめましょう！～ 東京医科歯科大学 医学部附属病院腫瘍センター 師長 小笹 由香 |
| 第 188 回 平成 30 年 12 月 4 日 | (医療訴訟) 「医療訴訟ガイドンス」 大阪地裁 裁判長 山地 修 大阪地裁 裁判官 杉本 敏彦 大阪地裁 裁判官 藪田 貴史 大阪地裁 裁判官 野上 恵里 |
| 第 189 回 平成 30 年 12 月 26 日 | (国際医療) 外国人患者受入れ医療機関認証制度 (JMIP) 更新へ向けて 一般財団法人日本医療教育財団認証事業課 課長 石井 雅典 国際医療センター センター長 中田 研 副センター長 南谷 かおり |
| 第 190 回 平成 31 年 1 月 8 日 | (患者対応) 病院勤務者が知っておくべき障がい者への配慮 キャンパスライフ健康支援センター 相談支援部門 准教授 望月 直人 患者さんの意見から学ぶこと 医事課 特任専門職員 工藤 敏治 |
| 第 191 回 平成 31 年 2 月 14 日 | (医療機器・医薬品安全講習会) 第 3 回 医療機器・医薬品安全講習会 臨床工学部 臨床工学技士 太田 雄士 薬剤部 薬剤師 真田 泰明 |
| 第 192 回 平成 31 年 2 月 20 日 | (防火・防災) 防災訓練を振り返って 災害対策室 特任研究員 梅田 幸治 |
| 第 193 回 平成 31 年 3 月 7 日 | (特定機能病院) 高齢者総合機能評価 (CGA) について 老年・高血圧内科 助教 赤坂 憲 特定機能病院の承認要件の見直し及びガ |

| | |
|--------------------------------|--|
| | バランス改革について/保険制度について ～阪大病院算定の入院基本料・各種加算 を中心に～ 株式会社ニチイ学館 医事技能専門職 三刀谷 美智恵 |
| 第 194 回 平成 31 年 3 月 19 日 | (事故報告) 医療ガスのヒヤリハット 株式会社エフエスユニ 大越 雪乃 停電事故報告 管理課 電気係長 伊地知 大策 |

6. 心肺蘇生研修

医師及び看護師への心肺蘇生教育として、心停止を含めた急変患者への対応を学ぶための講習を年 7 回開催した (写真)。このうち 5 回は全ての医療職種を対象とした二次救命処置講習 (大阪府医師会 ACLS コース、かつ日本救急医学会 ICLS コース) であり、残りの 2 回は内科専攻医を対象とした内科救急・二次救命処置講習 (日本内科学会 JMECC コース) として行った。

これらの講習を円滑に行うために、院内にリスクマネジメント委員会の下部組織として平成 28 年度より ACLS ワーキンググループが組織されており、認定資格を持った医師、看護師、臨床工学技士が委員として参加している。ACLS ワーキンググループはリスクマネジメント委員会と連携しつつ、医事課や教育研究支援課を含めた各部署と協議のもとで心肺蘇生講習会を運営している。

初期研修医に対しては 4 月の研修イントロコースの中で講習を行っている。また新人看護師については、一次救命処置講習 (BLS、AED を含む) を就職早期に全員に行っている。また各部署単位で、定期的に急変対応のシミュレーショントレーニングを行っており、適宜 ACLS ワーキンググループの委員が指導にあっている。医師、看護師以外の医療従事者に対する一次救命処置講習も定期的に行っている。

その他、院内各所に自動体外式除細動器 (AED) が配備されており、医療従事者以外の院内職員、医療ボランティアに対する、第一発見者のための一次救命処置講習会 (PUSH 講習会) を定期開催している。

